

新規事業採択時評価結果（平成24年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

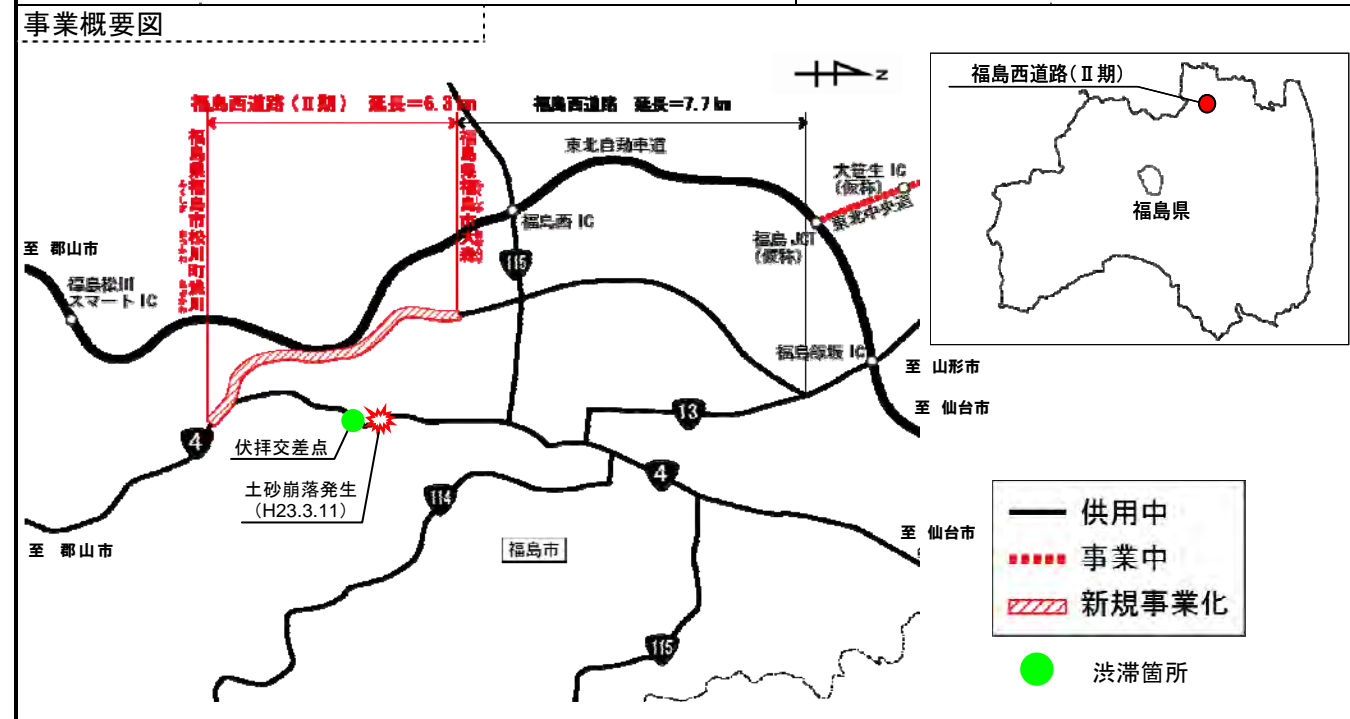
事業の概要

事業名	一般国道13号 福島西道路（Ⅱ期）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県福島市松川町浅川 至：福島県福島市大森	延長	6.3km		

事業概要
一般国道13号は、福島県福島市から秋田県秋田市に至る延長約380kmの主要幹線道路である。福島西道路（Ⅱ期）は、平成22年3月に全線供用した福島西道路（7.7km）の南伸であり、福島市松川町浅川から同市大森に至る延長6.3kmのバイパス事業である。

事業の目的、必要性
当該区間の整備により、並行する国道4号では交通の分散により混雑が緩和されるとともに、混雑による追突事故の低減や代替路確保による災害に強い道路ネットワークの形成が図られる。

体事業費	約245億円	計画交通量	22,700台/日
------	--------	-------	-----------



関係する地方公共団体等の意見
【福島県知事】・予算化に同意
・早期完成をお願いしたい

学識経験者等の第三者委員会の意見
・新規事業化については妥当である

事業採択の前提条件
■費用対便益：便益が費用を上回っている
■手続きの完了：都市計画変更手続き完了（平成23年11月22日）

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.7	総費用：183億円 事業費：161億円 維持管理費：22億円	総便益：315億円 走行時間短縮便益：282億円 走行経費減少便益：14億円 交通事故減少便益：19億円	基準年：平成23年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.4（交通量 -10%）	B/C=2.0（交通量 +10%）		
		事業費変動	B/C=1.6（事業費 +10%）	B/C=1.9（事業費 -10%）		
		事業期間変動	B/C=1.5（事業期間 +20%）	B/C=1.9（事業期間 -20%）		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・福島市南部の国道4号の交通混雑解消。 福島市南部の交通容量を確保し国道4号の交通混雑を解消 【当該区間の混雑度】 1.07 ⇒ 0.76		
		事故対策	◎	・交通を分散することにより、並行する国道4号の事故の減少が見込まれる。 610.1件/億台キロ（現況）（国道4号伏拝交差点） 全国平均：約100件/億台キロ（約6倍）		
		歩行空間	—			
	社会全体への影響	住民生活	○	・福島市街地から三次医療施設（福島県立医科大学附属病院）への搬送時間が短縮され医療アクセスが向上 【テレビュー福島東側交差点～福島県立医科大学附属病院までの所要時間】 21分 ⇒ 15分（6分短縮）		
		地域経済	—			
		災害	○	・代替路の確保により、広域迂回の解消が期待される。		
環境		○	【CO ₂ 排出削減】 CO ₂ ：1,699 t /CO ₂ /年の削減			
地域社会	—					
事業実施環境	○	・平成17～18年度に市民参加型の道路計画（PI）を実施し、地元住民と対策案等については合意済。 ・平成23年11月22日付け、都市計画変更済み。 ・福島県知事や福島市長、地元（区長、県議会議員、市議会議員）より積極的な要望活動が行われており、地元の期待は大きい。				

対応方針

費用便益比が1.7と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し事業採択の前提条件が確認できる。
また、交通混雑の緩和、交通事故の削減および災害時の道路ネットワーク確保等、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。